

# 豊岡市 多様性推進のイメージ

豊岡市いのちへの共感に満ちたまちづくり条例  
(2012年6月施行)

豊岡市基本構想  
(2017年9月策定)

「多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている」

第2期豊岡市地方創生総合戦略  
(2020年2月改訂)

「多様性を受け入れるまちづくり」

多様性推進方針  
(2025年3月策定)

ジェンダー  
ギャップ  
解消戦略  
2021年3月  
策定

男女共同  
参画プラン  
2022年3月  
改訂

多文化共生  
推進プラン  
2021年9月  
策定

パートナー  
シップ制度  
導入  
(県証明)

LGBTQ/SOGIE  
への対応等

人権教育・人権啓発

# 豊岡市多様性推進方針



## 基本理念

命への共感に基づいて、だれもが多様なちがい(ダイバーシティ)を理解し、公平・公正(エクイティ)に扱われ、一体感を持って組織・社会に包摂(インクルージョン)されるまちづくり

### 取組の視点1

「ちがい」を理解・尊重し、無意識の偏見・思い込みに気づき行動を変えます



無意識の偏見・思い込みへの気づきと行動変容



### 取組の視点2

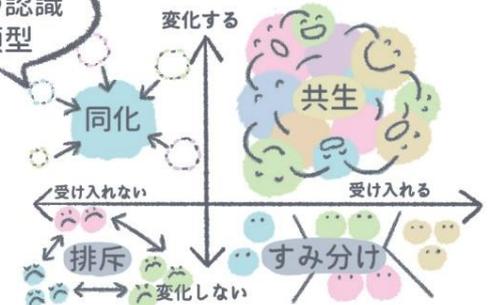
不利益をなくし、公平・公正を目指します  
不利益をなくす



平等だけではなく公平・公正



「ちがい」の認識  
受入れの類型



※このイラストは、IISC (interactioninstitute.org / madewithangus.com) のイラストを参考に作成しています。

# 豊岡市多様性推進方針の位置づけ

(まちづくり全体のイメージ図)

長期目標：命への共感に満ちたまち（豊岡市いのちへの共感に満ちたまちづくり条例）

## 基本構想

戦略目的：「小さな世界都市—Local & Global City—」

人口規模は小さくても、ローカルであること、地域固有であることを通じて世界の人々から尊敬され、尊重されるまち

### 市民の暮らしを支える

- 1 安全に安心して暮らせるまち
- 2 人と自然が共生するまち
- 3 持続可能な「力」を高めるまち
- 4 未来を拓く人を育むまち
- 5 人生を楽しみお互いを支え合うまち

6 岡で子どもたちが地域への愛着を育み、豊かで世界と出会っている

5 内発型の地域産業がすくすくと育っている

4 多様性を受け入れ、支え合うリベラルな風がまちに満ちている

3 優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんで

2 新しい工夫が加わり、引き継がれている

1 自然との共生が徹底されている

豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略  
豊岡市多文化共生推進プラン

豊岡市地方創生総合戦略（人口減少対策）

豊岡市男女共同参画プラン

豊岡市多様性推進方針

### 4つの危機

- 1 コミュニティ崩壊の危機
- 2 災害の危機
- 3 経済衰退の危機
- 4 財政崩壊の危機

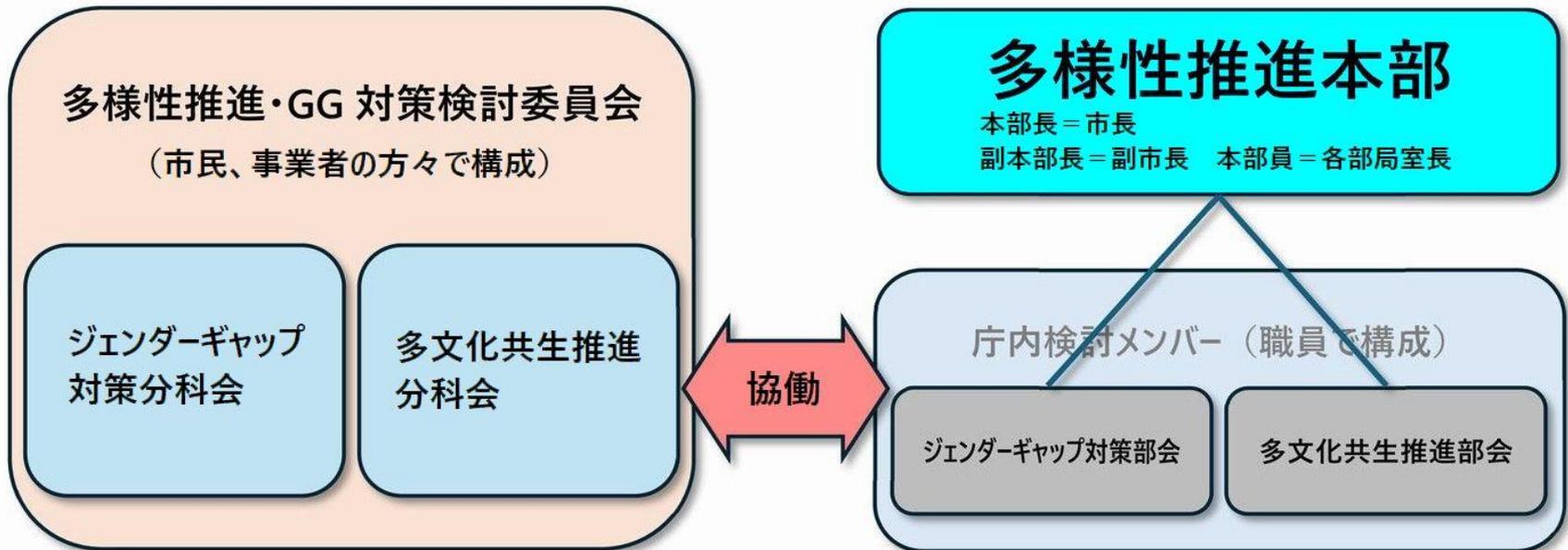
+

### 重要課題・社会潮流

- 1 人口減少社会の到来
- 2 災害の大規模化と頻発化
- 3 地球環境問題の深刻化
- 4 グローバル化
- 5 人間の役割の劇的変化

多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会  
多様性推進本部  
ジェンダーギャップ対策部会 多文化共生推進部会

相関図





## 手段 1 市民にジェンダーギャップ解消の必要性が知られている

- ジェンダーギャップ解消の必要性を学び、特に子どもたちの未来に関わることだと理解している市民が増えている
- 多世代・多様な市民が、ジェンダーギャップ解消の意義やメリットを語っている
- 市の施策にジェンダー視点が主流化され、ジェンダーギャップ解消の必要性が市民の暮らしの中に浸透している

## 手段 2 地域において男女が共に意思決定・方針決定に参画している

- 多世代・多様な市民によるコミュニケーションが活発に行われている
- 地域活動に参画しリーダーシップを発揮する女性や若者が増えている
- 女性や若者の声やニーズが政策に反映されている



## 手段 3 女性も男性も働きやすく働きがいのある事業所が増えている

- 経営者がジェンダーギャップ解消に向けてリーダーシップを発揮している
- 先進的な事例やノウハウを手本にして変革に取り組む事業所が増えている
- 性別に関わらずフェアな評価により活躍の場が広がっている
- 性別に関わらず家事・育児、介護のための休暇等の取得が進んでいる



### 上位目的

この戦略において  
5～10年程度で実現したい姿

固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている

### 戦略目的

この戦略において  
3年程度で達成したい姿

ジェンダーギャップ解消の必要性を自分ごととして捉え、行動する人が増えている

## 手段 4 家庭において男女が家計責任(世帯収入)とケア責任(家事・育児・介護等)を分かち合っている

- 家事・育児・介護等の価値や意義が知られている
- スキルを磨いて家事・育児・介護等に主体的に関わる男性が増えている
- 家事・育児・介護等に関する支援の仕組みが構築されている



## 手段 5 自分のありたい姿に向かって、経済的に自立し、いきいきと暮らす女性が増えている

- 自己実現に向けてチャレンジする女性が増えている
- まちのあちこちで女性同士のつながりが生まれている
- 経済的に自立するための相談支援体制が構築され、活用する女性が増えている



## 手段 6 子どもたちがジェンダーギャップ解消の必要性を自分のことばで語っている

- 保育園・子ども園・幼稚園・学校等でジェンダー視点を取り入れた保育・教育が行われている
- 子どもたちが性別にとらわれず自分のありたい姿を描き、実現に向けて行動している



# 豊岡市 ジェンダーギャップ 解消戦略

## —戦略体系図—

2021年度～2030年度

# 豊岡市多文化共生推進プランの具体的な取組み

## 3つの主要手段で戦略目的達成を目指す！

長期目標	多様な人々が地域や職場の一員として活躍している
戦略目的	暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている
主要手段01	<b>【コミュニケーション支援】</b> 外国人市民が円滑にコミュニケーションをとっている
【主な事業】	日本語学習機会の充実 ワンストップ相談窓口の設置検討 等
主要手段02	<b>【生活支援】</b> 外国人市民が安全・安心に暮らしている
【主な事業】	乳幼児健診等での通訳等多言語対応 災害時における外国人支援体制検討 等
主要手段03	<b>【意識啓発と地域づくり】</b> 外国人市民が地域活動に参画している
【主な事業】	地域行事への参加促進、外国人市民が大学、地域等で 講義する機会の創出 等

# 検討委員会・多様性推進本部 部会の設置

## 1 趣旨

「多様性推進方針」に基づき、市の施策に多様性の視点を取り入れ、あらゆる場に多様な人々が参画する「多様性を受け入れ、支え合うまちづくり」に取り組む。

## 2 協議事項

- (1) 多様性推進の推進に関すること。
- (2) ジェンダーギャップ解消戦略、多文化共生プランの検討、進行管理に関すること。
- (3) 多様性施策の方針決定、推進、多様性推進方針に基づく事務事業評価に関することなど。

## 3 アドバイザー

### 【多様性全般】

豊岡市多様性推進アドバイザー・豊岡市多文化共生推進会議アドバイザー 田村 太郎さん  
(一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事)

### 【ジェンダー関連】

豊岡市ジェンダー平等推進アドバイザー 大崎 麻子さん

(特定非営利活動法人Gender Action Platform理事)

豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略会議顧問 目黒 依子さん

(上智大学名誉教授・特定非営利活動法人Gender Action Platform理事長)

## 4 委員構成

外部 15人 ※地域、企業、教育、男女共同参画、多文化共生等関係者  
庁内 13人 ※関係部署職員

## 5 実施回数

検討委員会 全体会2回、多文化分科会2回、ジェンダー分科会2回 (全6回)

# 委員会開催の予定

- 第1回** 2025年6月17日（火） 13:30～16:30 全体会①
- 第2回** 2025年7月30日（水） 13:30～16:30  
ジェンダーギャップ対策分科会①
- 第3回** 2025年8月7日（木） 13:30～16:30  
多文化共生推進分科会①
- 第4回** 2025年9月19日（金） 13:30～16:30  
多文化共生推進分科会②
- 第5回** 2025年9月29日（月） 13:30～16:30  
ジェンダーギャップ対策分科会②
- 第6回** 2025年11月7日（金） 13:30～16:30  
全体会②

2025年11月下旬に多様性推進本部報告 → 12月中にパブリックコメント実施 → 2026年1月末、後期計画とプラン改定の完了

## 2025年度 多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会の目標、スケジュール

